

「外国語活動の手引き」 参考資料

1 年間計画例

- (1) 5年生
- (2) 6年生

2 評価実践例

- (1) 評価規準
- (2) 評価についての研修

3 授業実践指導案例

- (1) 5年生
- (2) 6年生
- (3) 英文の指導計画

4 「外国語活動通信」例

5 各種形式

- (1) 振り返りカード
- (2) 事前打ち合わせシート枠

外国語活動年間指導計画 第5学年 (35時間)

片品村立片品小学校

(英語ノート1)

第5学年の目標

- ◎友達とのかかわりを大切にしながら、自分のことや身近なこと（日常生活・学校生活など）についての基本的な表現に慣れ親しむ。
- ◎英語による言語活動や、言葉によらないコミュニケーション（ジェスチャーや表情）などを通して、自分のことを伝えたり、相手のことを理解したりしようとする態度を身につける。
- ◎さまざまな言語や文化について知り、多様なものの味方や考え方に気づく。

<評価の観点>

- 1:コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- 2:外国語への慣れ親しみ
- 3:言語や文化に関する気付き

単元	タイトル		指導内容				★国際理解		
			目標	主な学習活動	表現	評価の観点			
						1		2	3
1	世界の「こんにちは」を知ろう	第1時	○世界には様々な挨拶があることを知る。	・先生のあいさつを聞こう ・世界のいろいろな「こんにちは」を聞こう ・キー・ワード・ゲーム	What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet	○			・文化の違いによるボディー・ランゲージやジェスチャー
		第2時	○挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	・世界のいろいろな「こんにちは」を聞こう ・みんなとあいさつをしよう ・名刺を作ろう	Hello. My name is ~. Nice to meet you. Nice to meet you, too.	○	○		
		第3時	○友達と挨拶し、作成した名刺を交換する。	・チャンツで復習しよう ・あいさつしながら名刺交換をしよう	What's your name? My name is ~.		○	○	
2	ジェスチャーをしよう	第1時	○様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・聞こえる英語とあう表情を選ぼう ・先生の表情を見てどんな気持ちか当てよう ・歌を動作をつけて歌おう	How are you? I'm fine/happy/hungry/sleepy.			○	・世界には自分の思いを相手に伝えるためのいろいろなジェスチャーがあることを知る。
		第2時	○ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーをつけて思いを伝える。	・ジェスチャー・ゲーム ・ジェスチャーの違いについて考えよう	How are you? I'm fine/happy/hungry/sleepy.		○		
		第3時	○ジェスチャーをつけて進んで相手に挨拶する。	・たくさんの友達とジェスチャーをつけてあいさつしよう ・列ごとにあいさつをしよう	How are you? I'm fine/happy/hungry/sleepy.	○			

		第4時	○感情や様子を、ジェスチャーをつけて表現し、伝える。	・みんなにあいさつをして、誰がどのような様子か、表にまとめよう	How are you? I'm fine/happy/hungry/sleepy.		○	
3	数で遊ぼう	第1時	○世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1～10の数を言う。	・いろいろな言葉でじゃんけんしよう ・世界のいろいろな1～10の言い方を聞こう ・動作をつけて歌おう	How many? 1～10 Rock, scissors, paper, one two three.		○	・海外の国々の数の言い方や数え方、および遊びを知ることにより、文化の多様性への認識を深める。
		第2時	○世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1～20の数を言う。	・じゃんけんの復習をしよう ・正方形の数を数えよう ・聞こえた数字を順に線で結ぼう	How many? 11～20		○	
		第3時	○いくつか尋ねたり1～20の数で答えたりする。	・数字ピラミッドゲーム ・キー・ナンバー・ゲーム	How many? 1～20		○	
		第4時	○数を扱ったゲームを友達と行う。	・歌で1～20までの言い方を復習しよう ・スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム	Hello, ~. How many? See you.		○	
4	自己紹介をしよう	第1時	○好き嫌いについて聞き取る。	・だれが何を好きなのか聞き取ろう ・キー・ワード・ゲーム	Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. I like ~.		○	・単語の発音や身振り手振りの違い
		第2時	○自分の好き嫌いを相手に伝える。	・チャンツをしよう ・好きなものときらいなものを聞いて表を完成させよう ・○×クイズで先生の好きな物を当てよう	~ sensei, do you like ~?		○	
		第3時	○友達に好き嫌いを尋ねる。	・自分の好きなものを書き、友達に好きか嫌いかを聞いてみよう	Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't.		○	
		第4時	○自分の好きなものを含めて自己紹介をする。	・名前や好きなものを言って、自己紹介しよう	Hello. My name is ~. I like ~. Thank you.		○ ○	
5	いろいろな衣装を知ろう	第1時	○世界には様々な衣服があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・英語を聞き、どのペアが話している会話か考えよう ・どのような服を着たいか考えよう	Do you like blue? Yes, I do. No, I don't. I don't like red.		○	・各国の衣服を知り、世界の多様な生活文化への関心を高める。
		第2時	○自分の意見をはっきり言う	・ペアで好きな衣服を紹介し	Do you have blue shoes?			

		2時	この大切さに気づくとともに衣服を買うときの表現を知る。	あおう ・英語を聞き、お店にあるものを○で囲もう	Here you are.			○		
		第3時	○好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるように声をかける。	・店員役、客の役になって買い物しよう	Do you have blue shoes? Here you are. Thank you.			○		
		第4時	○聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。	・ショー・アンド・テルで自分が買ったものを発表しよう	Hello. My name is ~. I have ~. I like ~. I dont like ~. Thank you.			○	○	
6	外来語を知ろう	第1時	○外来語とその由来の語との発音の違いに気づき、注意して発音する。	・身近な外来語を探そう ・キー・ワード・ゲーム	What's this? banana, apple, pineapple, etc.				○	・外来語の由来を学び、文化が伝播していくことを知る。
		第2時	○相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	・英語を聞き、どこの国から来た食べ物か線で結ぼう	What do you want? Banana.				○	
		第3時	○欲しいものを尋ねたり要求したりして、友達のフルーツパフェを作る。	・チャンツをしよう ・自分のオリジナルフルーツパフェを紹介したり、友達のパフェを作ったりしよう	What do you want? Strawberries, please. Here you are. Thank you. You're welcome.				○	
		第4時	○作ったフルーツパフェを紹介する。	・だれのフルーツパフェなのか当てるクイズをしよう						
7	クイズ大会をしよう	第1時	○英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちのおもしろさに気づく。	・部分絵カードについての質問に答えよう ・漢字カードの生き物が何か考えよう	What's this? It's a pencil.				○	・日本語には二字熟語のような2つの漢字の組み合わせで意味を表す言葉があるのと同様、英語にも単語が組み合わさってできている言葉があることを知り、言葉の多様性を実感する。
		第2時	○What's this?の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	・教室にあるものを使って、「これなあに」のクイズをしよう	What's this? It's a pencil. book, eraser, etc.				○	
		第3時	○What's this?を使って尋ねる。	・シルエット・クイズ ・クイズを作って聞いてみよう	What's this? It's a rabbit/ yacht/bird/butterfly.				○	
		第4時	○友達と互いに尋ねたり答えたりしてクイズ大会を楽しむ。	・いろいろな種類のクイズで楽しもう <スリーヒントクイズ> <ブラックボックスクイズ> <ピクチャークイズ> <シルエットクイズ>	What's this? It's a ~. That's right! Yes./No.				○	

8	時間割を作ろう	第1時	○外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。	・英語を聞き、教科書を探そう ・ジェスチャーを見たりヒントを聞いたりして何の教科か当てよう	I study Japanese. What subject is this?				○ 外国の小学校の学校生活について知り、外国語や海外の国々について学ぶ意欲を高める。	
		第2時	○教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。	・曜日当てクイズをしよう ・ビンゴ・ゲーム ・英語を聞き、時間割を完成しよう	I study Japanese on Monday. Monday ~ Sunday		○			
		第3時	○作成した自分のオリジナル曜日時間割を友達に伝える。	・先生と教科を線で結ぼう ・グループで、自分たちの時間割を作ろう	What do you study? I study English. I teach Japanese.			○		
		第4時	○グループで作成した時間割を発表する。	・グループで作った時間割を発表し、理由を言おう	We study math, science, music and Japanese on Monday.			○		
9	ランチ・メニューを作ろう	第1時	○日本と外国とでは、朝食時に食べるものが異なっていることを知る。	・自分や友達の朝ご飯を知ろう ・外国の朝ご飯を知ろう	I eat fruit and cereal in the morning.				○ 場に応じて、相手を敬い、礼儀正しい表現をすることの大切さに気づく。	
		第2時	○食べ物や料理を表す語を知る。	・キー・ワード・ゲーム ・チャンツをしよう	What would you like? I'd like juice.					○
		第3時	○丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。	・ビンゴ・ゲーム ・友達の食べたいものを聞き、スペシャルランチを作ろう	What would you like? I'd like juice. Here you are. Thank you. You're welcome.					○
		第4時	○グループで作成したオリジナル・ランチ・セットを紹介する。	・ショー・アンド・テル	What's your lunch? Hotdog, salad,.... Do you like salad? Yes, I do. / No, I don't.					○ ○

外国語活動年間指導計画 第6学年 (35時間)

片品村立片品小学校

(英語ノート2)

第6学年の目標

- ◎友達とのかかわりを大切にしながら、世界へのつながりや広がりに関する活動などを通して、自分のことや身近なことについての基本的な表現に慣れ親しむ。
- ◎コミュニケーション活動を通して、英語で自分のことを伝えたり、相手のことを理解したりしようとする態度を身につける。
- ◎さまざまな言語や文化について知るとともに、国際理解に関する交流などを通して、我が国との共通点や相違点に気づき、理解を深める。

<評価の観点>

- 1:コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- 2:外国語への慣れ親しみ
- 3:言語や文化に関する気付き

単元	タイトル		指導内容				☆国際理解		
			目標	主な学習活動	表現	評価			
						1		2	3
1	アルファベットで遊ぼう	第1時	○アルファベットの大文字の読み方を知る。	・A～Zの文字を見つけよう ・アルファベット・カルタ	A～Z That's right./Very good.			○	・ローマ字と英語の名前の表記方法の違いを知る。
		第2時	○アルファベットの大文字の読み方を聞いて、大文字を認識する。	・アルファベット・カルタ ・アルファベットや数字を線でつなごう ・ミッション・ゲーム	A～Z 1～20			○	
		第3時	○自らアルファベットの大文字を読み、大文字とその読み方を一致させる。	・アルファベット・パズル ・アルファベットの大文字をならべかえよう ・アルファベットの大文字を探そう	A～Z		○		
2	いろいろな文字があることを知ろう	第1時	○世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには小文字もあることを知るとともに、21以上の数を言う。	・動物を数えよう ・世界のいろいろな文字を知ろう	What's this?/ It's ~. a～z 21～100	○			・世界には192の国があり、そのうち54カ国で英語が公用語として使われていることを知る。
		第2時	○アルファベットの小文字に興味を持ち、小文字を認識する。	・ブロック色塗り ・大文字と小文字のカードの中から似ているものを見つけよう	a～z 21～100、192の言い方	○			
		第3時	○自らアルファベットの小文字を読み、小文字とその読み方を一致させる。	・アルファベットの大文字と小文字とを線で結ぼう ・町の中からアルファベット表示を探そう ・友達にどんな表示を書いたか尋ねよう	a～z 街の中の看板表示			○	

		第4時	○身の回りにあるアルファベット表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字とを書き写し紹介し合う。	・見つけたアルファベット表示を紹介しよう	a ~ z 街の中の看板表示	○		
3	友達の誕生日を知ろう	第1時	○日本の季節の行事や特徴を伝え、英語での月の言い方を知る。	・行事と月とを線で結ぼう ・行事と国名とを聞き取ろう	January ~ December		○	・世界の祭りや行事を知り、日本の祭りや行事についても改めて考える。
		第2時	○自分の誕生日を言う。	・キー・ワード・ゲーム ・ミッシング・ゲーム ・自分の誕生日の言い方を知ろう	My birthday is ~. 1st ~ 31st		○	
		第3時	○誕生日について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。	・ステレオ・ゲーム ・名前と誕生日とを線で結ぼう	My birthday is ~. 1st ~ 31st		○	
		第4時	○自分や友だちの誕生日について尋ねたり、答えたりする。	・アルファベットの文字を入れよう ・誕生日をインタビューしよう	When is your birthday? My birthday is ~.		○	
4	できることを紹介しよう	第1時	○相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。	・動物のできることできないことを聞こう ・できることできないことを聞こう	I can swim. I can't swim.		○	・友達と自分との違いを知り、それを認め合う。
		第2時	○どのようなことができるかを友だちに尋ねたり、答えたりする。	・ジェスチャーあて ・先生のできることを聞こう ・友だちにインタビューをしよう	Can you swim? Yes, I can. No, I can't. I can swim..		○	
		第3時	○友だちとどのようなことができるかを、尋ねたり答えたりする。	・インタビューをしよう ・ショー・アンド・テルをしよう(準備)	Can you ~ ? play soccer/make an omelet play the piano...		○	
		第4時	○自分ができることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	・ショー・アンド・テルをしよう	Can you ~ ? Yes, I can. /No, I can't. I can't ~.		○	
5	道案内をしよう	第1時	○町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。	・おはじきゲーム ・指差しゲーム	Flower shop/school/ book store...		○	・道案内の仕方、建物の言い方を知る。
		第2時	○方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。	・サイモン・セズ・ゲーム ・ボブたちが着いたところを聞き取ろう ・聞き取って地図を作ろう	Where is ~ ? Turn right (left). Go straight. Stop.		○	

		第3時	○方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的の場所を教える。	・ペアで情報を伝えながら友だちと同じ町を作ろう ・グループで道案内をしよう	Where is the station? Turn right (left). Go straight. Stop.		○	
		第4時	○実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。	・ペアで情報を伝えながら友だちと同じ町を作ろう ・ペアで道案内をしよう	Where is the post office? Turn right (left). Go straight. Stop.		○	
6	行ってみたい国を紹介しよう	第1時	○世界には様々な英語があることを知る。	・4人の自己紹介からわかったことを書こう ・どの国旗がどの国かあてよう	I want to go to Italy./I want to eat pizza./I like ~.		○	・世界にはいろいろな国があり、いろいろな英語が話されているということを知る。
		第2時	○行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。	・CDを聞いて、カードを順に並べよう ・ビンゴ・ゲーム ・CDを聞き、子どもたちが行きたい国と理由を線で結ぼう	I want to go to ~. I want to eat ~. I like ~. I want to see ~.		○	
		第3時	○行きたい国を尋ねたり答えたりする。	・CDを聞いて、わかったことを書こう ・自分が行ってみたい国について、国旗とその理由とをかいて紹介しよう(準備)	I want to go to ~. I want to eat ~. I like ~. I want to see ~.		○	
		第4時	○行きたい国を理由とともに言ったり、相手の行きたい国と理由を理解したりする。	・自分が行ってみたい国について、国旗とその理由とをかいて紹介しよう ・友だちのスピーチを聞いて、行きたい国を知ろう	Hello. My name is ~. I want to ~.... Thank you.	○	○	
7	自分の一日を紹介しよう	第1時	○世界には時差があることを知るとともに、時間についての表現を知る。	・世界の国々の時間と子どものしていることを聞き取ろう ・1~60の数を言ってみよう ・CDを聞いて時計に長針、短針を書こう	What time is it? It's 8:00. 1~60		○	・世界には時差があるということを知る。
		第2時	○先生の1日の生活について話を聞き、その概要を理解する。	・先生がどのような1日を送っているか聞き取ろう ・おはじきゲーム ・ジェスチャー・ゲーム	What time do you get up? I get up at 6:00. study/eat/clean/play/go home/watch...		○	
		第3時	○自分の生活に関する表(生活表)を作成する。	・先生がどのような1日を送っているか聞き取ろう ・先生の1日を参考にして、自分の1日を紹介しよう(準備)	What time do you get up? I get up at 6:00. study/eat/clean/play/go home/watch...		○	
		第4時	○作成した生活表をもとに、自分の1日を紹介する。	・グループで友だちの1日の生活を聞き、わかったことを吹き出しに書こう	Hello. My name is ~. I get up at ~..... Thank you.	○	○	

8	オリジナルの劇をつくらう	第1時	○世界には様々な民話や物語があることを知り、それらに興味を持って聞く。	・CDを聞いてどの物語か考えよう ・「大きなかぶ」の物語を聞こう	grandpa/grandma/girl/dog/ cat/mouse Please help me.			○	・世界のいくつかの昔話を知る。
		第2時	○「大きなかぶ」の面白さを知り、グループで登場人物を変え、オリジナル「大きなかぶ」をつくる。	・CDを聞いて登場する順に人物絵カードを置こう ・CDを聞いて、どの場面か吹き出しに番号を書こう ・登場する人物や動物を考え、自分たちで物語をつくらう	Please help me. Please help us.			○	
		第3時	○グループでオリジナルの物語を創作し、劇の練習をする。	・セリフを考え、自分たちで物語をつくらう	Please help me./Please help us./pull/Yo-heave-ho!	○	○		
		第4時	○オリジナル物語を発表したり、他のグループの発表を聞いて理解したりする。	・セリフを考え、自分たちで物語をつくらう ・互いに発表し合い、他のグループの発表を聞いて、どのような人物や動物などが出てきたか書こう	その他として Come here. What's the matter? など		○	○	
9	将来の夢を紹介しよう	第1時	○様々な職業の言い方を知る。	・職業クイズ ・どの人の自己紹介か聞こう ・ビンゴ・ゲーム	teacher/doctor/fire fighter/ soccer player/engineer/...			○	・世界の子どもたちが つきたい職業を知り、 日本の子どもとの違い や文化的な違いを知る。
		第2時	○将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。	・ビンゴ・ゲーム ・CDを聞いてわかったことを書こう	What do you want to be? I want to be a teacher. I like ~.			○	
		第3時	○将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。	・チェーン・ゲーム ・インタビューをしよう ・スピーチ・メモを作成して、それをもとに自分の夢を紹介しよう（準備）	What do you want to be? I want to be a teacher. I like ~.	○			
		第4時	○スピーチ・メモをもとに、理由を含め自分の夢を紹介する。	・自分の夢を紹介しよう ・友だちのスピーチを聞いて、名前と夢、理由を書こう	Hello. My name is ~. I want to be a ~..... I like ~. Thank you.		○	○	

評価規準一覧 (抜粋)

I 評価の観点及びその趣旨・評価方法・文末表現

観点	趣旨
<p>コミュニケーションへの 関心・意欲・態度</p>	<p>積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかどうかを評価するものであり、子どもが実際に<u>コミュニケーションを行おうとしている状況を観察する</u>などして評価する必要がある。 ☆文末表現 ○○ようとする。</p>
<p>外国語への慣れ親しみ</p>	<p>様々な活動を通して、外国語への音声やリズムなどに慣れ親しみ、設定された表現などを使用して、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを理解したりしているかどうかを評価するものである。 <u>子どもの行動や発言の観察、また、活動の中で子どもが作成したものや、子どもが記したワークシート等からも評価することになる。</u> ☆文末表現 ○○していた。○○が実感できた。 注：スキルでない。</p>
<p>言語や文化に関する気付き</p>	<p>外国語活動では、多様な文化の存在を知り、我が国の文化と異文化とを比較することで、様々な見方や考え方があることに気づかせることが大切である。そのため、ここでは、文構造や文法事項、扱う言語の背景にある文化に対する理解ではなく、幅広い言語に関する能力を指し、<u>言葉の表し方の違いや言葉の多様性、言葉の面白さや豊かさ等への気付きを子どもの行動観察や自己評価等から評価するものである。</u> ☆文末表現 ○○気付いた。</p>

II 評価規準一覧

5年

○あいさつをしよう（英語ノート1 Lesson 1 対応）

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○英語でのあいさつを知る。 ・ALT とのあいさつ。 ・あいさつのしかたを知る。	・英語でのあいさつを進んでしようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
2	○国によって様々なあいさつがあることを知るとともに、場面に応じた英語のあいさつを知る。 ・いろいろな国のあいさつ。 ・場面に応じた英語のあいさつ。	・国によるあいさつのおもしろさや場面に応じたあいさつの違いに気付いた。 (言語や文化に関する気付き)
3	○いろいろな国のあいさつに慣れ親しむ。 ・7カ国のあいさつを練習する。 ・名刺作り。	・いろいろな国のあいさつを思い出し、声に出して言っていた。 (外国語への慣れ親しみ)
4	○身の回りの人と英語であいさつし、英語でのあいさつに慣れ親しむ。 ・名刺カードを交換しながら友達とあいさつをし合う。	・名刺カードを交換しながらあいさつし、相手の名前をよく聞こうとしていた。 (外国語への慣れ親しみ)

○ジェスチャーをしよう（英語ノート1 Lesson 2 対応）

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○感情や様子を表す表現を知る。 ・先生の気持ちをあてよう。	・様々な感情や様子を表す表現に慣れ親しんでいた。 (外国語への慣れ親しみ)
2	○同じ意味の伝え方でも国によってジェスチャーが違いがあることに気付く。 ・友だちに聞いてみよう。 ・ジェスチャーゲーム。	・国によるジェスチャーの違いに気付いた。 (言語や文化に関する気付き)
3	○ジェスチャーをしながら進んであいさつしようとする。 ・Chants Game・列ごとにあいさつをする。	・自分の感情や様子をジェスチャーをしながら相手に伝えようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○数で遊ぼう（英語ノート1 Lesson 3 対応）

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○世界の様々なジャンケンや1～10までの数の数え方に慣れ親しむ。 ・世界のジャンケンをする。 ・世界の数の言い方を知る。 ・“Ten Steps”を歌う。	・いろいろな国の数の表現に親しみながら、数の言い方を聞き取ろうとしていた。 (言語や文化に関する気付き)

2	○1～20までの数の数え方に親しむ。 ・数を英語で数える。 ・11～20までの数の言い方を知る。 ・“Ten Steps”を歌う。	・積極的に1～20までの数を聞き取ったり、言ったりしようとしていた。 (外国語への慣れ親しみ)
3	○ゲームを通して1～20までの数の使い方に慣れる。 ・ジャンケンゲーム ・Key Number Game	・楽しくゲームに取り組み、1～20までの数を英語で話そうとしていた。 (外国語への慣れ親しみ)
4	○ゲームを楽しむことを通して1～20までの数の使い方に慣れ親しむ。 ・Key Number Game ・1～10、11～20、30、40、50、60、70、80、90、100の言い方を知る。 ・Pyramid Game	・ゲームを楽しみながら、相手に数を尋ねたり、数を答えようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○好きなものはなあに（英語ノート1 Lesson 4 対応）

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○相手の好きなものや嫌いなものを聞こうとする。 ・ALTの summer vacation の話を聞く。 ・Yes / No Game や Mr. Wolf Game を行う。	・先生や友達の好きなものや嫌いなものに気付いた。 (外国語への慣れ親しみ)
2	○好きや嫌いを答え、自分の気持ちを相手に伝える。 ・食べ物の言い方に慣れ親しむ。 ・好きな食べ物は何か。	・自分の好き嫌いを答えながら、自分の気持ちを相手に伝えようとする。 (外国語への慣れ親しみ)
3	○相手の好きなものや嫌いなものを尋ねながら、友達と交流する。 ・あなたは何が好きですか。	・好きなものを伝えたり、聞いたりしながら、会話を楽しみ友達と交流しようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
4	○自己紹介をしながら、自分の好きなものを伝えたり、友達の好きなものを聞いたりする。 ・自己紹介（ミニスピーチ）。	・自己紹介を通し、自分の好きなものを伝えたり、友達の好きなものを聞いたりしていた。 (外国語への慣れ親しみ)

6年

○自分の一日を紹介しよう（英語ノート2 Lesson 7 対応）

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○世界には時差があることを知り、英語での時刻の表現に親しむ。 ・時差についての話聞く。 ・世界の各都市が何時か聞く。 ・1～60まで英語で表現に慣れ親しむ。 ・時刻を聞き取りゲーム。	・時差や時刻の表現のおもしろさや違いについて気付いた。 (言語や文化に関する気付き)
2	○話を聞いたり、活動したりしながら時刻と生活についての言い方に慣れ親しむ。 ・ALTの一日の生活の話聞き、分かったことを発表する。 ・おはじきゲーム ・ジェスチャーゲーム	・話を聞いたり、活動したりしながら時刻と生活についての簡単な英語表現を聞いたり言ったりしながら交流している。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
3	○自分の生活を紹介しますため、時刻の言い方や生活の中での動作を表す表現を使って発表する内容を考える。 ・自分の一日の紹介の準備をする。 ・発表の練習をする。	・「自分の一日」について、時刻の言い方や生活の中での動作を表す表現を使って発表する内容を考えていた。 (外国語への慣れ親しみ)
4	○時刻の言い方や生活の中での動作を表す言い方を使って、自分の生活を紹介します。 ・「自分の一日」の発表をする。	・「自分の一日」について発表したり、相手に伝わるように発表したり、友だちの発表を聞き、理解しようとしたりした。 (外国語への慣れ親しみ)

○オリジナルの劇をつくろう（英語ノート2 Lesson 8 対応）

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○英語で「大きなかぶ」などの物語のあらすじや、登場人物についての表現を聞く。 ・英語で4つの物語を聞く。 ・登場人物やそのせりふに注意して、英語で「大きなかぶ」を聞く。	・英語の簡単な表現で世界の様々な物語を聞き、日本語との表現の違いやおもしろさに気付いた。 (言語や文化に関する気付き)
2	○「大きなかぶ」で使われている表現に慣れ親しむ。 ・劇に出てくる表現を聞いたり、言ったりする。 ・劇のせりふを聞いたり、言ったりする。	・いろいろな表現を楽しみながら、声に出して言っていた。 (外国語への慣れ親しみ)
3	○グループでの劇の練習を通して、友だちと積極的に交流を楽しんでいる。 ・登場人物を決め、役割分担をする。 ・グループごとに劇の練習をする。	・グループでの劇の練習を通して、協力し合い、劇の練習に進んで参加し交流しようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

4	○グループで劇の発表をしたり、他のグループの発表を観たり聞いたりする。 ・せりふや劇の練習 ・劇の発表	・劇の発表を通して、グループで協力し合い、進んで交流しようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
---	---	--

○将来の夢を紹介しよう (英語ノート2 Lesson 9 対応)

	○目標 ・主な活動	評価規準
1	○様々な職業の英語での表現のしかたを知る。 ・職業当てクイズ ・ビンゴゲーム	・職業の英語での表現を知り、その表現のおもしろさや違いに気付いた。 (言語や文化に関する気付き)
2	○将来の夢やつきたい職業について話を聞いて、相手の思いを理解する。 ・先生の子供の頃の夢 ・ビンゴゲーム ・英語ノートに出てくる3人の子どもが自分の将来について話すのを CD で聞き、吹き出しに記入する。	・将来の夢やつきたい職業について話を聞き、相手の思いを実感していた。 (外国語への慣れ親しみ)
3	○簡単な英語表現を使って、将来つきたい職業や夢について、尋ねたり答えたりする。 ・インタビューゲーム。 ・スピーチメモを作成する。	・将来つきたい職業を尋ねたり答えたりする活動に取り組みながら友達と交流する。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
4	○「自分の夢とその理由」を発表したり、友達の発表を聞いたりする。 ・スピーチのしかたを知る。 ・メモをもとにスピーチをする。 ・友だちのスピーチを聞いて、分かったことをメモする。	・自分が将来つきたい職業や夢とその理由の発表を通して自分の思いを伝えたり、友達の発表から相手の思いを理解したりしていた。 (外国語への慣れ親しみ)

※参考：評価規準一覧からみた年間評価回数

☆評価回数	5年 (英語ノート1)	6年 (英語ノート2)
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	10	11
外国語への慣れ親しみ	17	16
言語や文化に関する気付き	9	8

平成21年度 評価のあり方に関する研修 (抜粋)

1 基本的な考え方

評価についてのこの研究事例の特徴は、評価を5つの観点からとらえたことである。5つの観点とは「積極的に英語を使おう(言おう)とする態度(A_{Active})」、「明るく元気に会話しようとする態度(B_{Big voice})」、「言語や文化に関心を持ち、意識して知ろうとする態度(C_{Careful})」、「自分なりにやり方を考えたり、工夫を凝らしたりしようとする態度(D_{Design})」、「コミュニケーション活動を楽しもうとする態度(E_{Enjoy})」である。これらの5つの観点の英語の頭文字は、ABCDEとなっており、教師にも児童にも馴染みやすいと考えた。

そこで、教師がこの5つの評価の観点から授業を構成し、実践することにより、①教師が授業のねらいをより明確にすることができる、②教師が見取りの視点をよりはっきりさせることができる、③児童に学習活動の見通しを持たせたり意欲を高めたりする手立ての一つとすることができる、④児童の自己評価シートを授業改善に役立てることができる、といったメリットを得られるという仮説を立てた。そして実際に6年の単元「将来の夢を紹介しよう(全4時間)」の一部で実践し、その効用を検証している。なお、評価に際しては教師用の見取りシート、児童用の自己評価シート「ふりかえりカード」の2つのシートを作成し、使用した。

2 5観点による評価規準

観点 対象	小学校			指導要領の「外国語活動の目標」が該当する主な項目
	低学年	中学年	高学年	
(A) Active	英語を口にしようとしている	英語を進んで使おうとしている	英語で自分の考えや思いを伝えようとしている	③外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる
(B) Big voice	明るく、元気に会話しようとしている	場に応じた声の大きさを会話している	場や相手に応じた適切な声の大きさを会話している	
(C) Careful	英語を聞いてみようとしている	興味を持って外国の言葉や文化に親しんでいる	注意深く日本と外国の生活習慣・文化の良さ・違いを見つめている	①外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深める
(D) Design	活動のルールやきまりを理解して参加しようとしていたか	活動のルールやきまりを理解し、自分なりの工夫を凝らそうとしていたか	よりよい活動やそのルールを考え、提案しようとしていたか	②外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る
(E) Enjoy	楽しく活動しようとしていたか	伝える楽しさ、伝わる楽しさを感じようとしていたか	コミュニケーション活動を楽しんで実践していこうとしていたか	

4 授業での評価規準の活用例：6年「将来の夢を紹介しよう」

主な活動と5観点評価の関わりは以下の通り。()内は活動における主要な評価の観点。
また、網掛け部分は、その授業での評価を取るための主な活動。

①実践1時間目 (45分)

ア Simon says ゲーム (C) →

イ 職業当てクイズ (A・B)

※英語ノートCDの英語を聞き、絵をヒントに職業を当てさせる。答え合わせで、発音の反復練習をさせる。

ウ **ビンゴゲーム (D)**

※英語ノートを使う。自由に並べた16枚の職業絵カードをもとに、児童に順番で好きな職業名を一つずつ発表させビンゴを行う。制限時間内でのビンゴの数を競わせる。

■この授業での評価：職業を表す単語を使ってビンゴゲームをしている。〈行動観察〉

*Simon says と教師が前置きしたときだけ、児童は教師の指示に従うゲーム。

例) Simon says touch your eyes.

→児童は目を触る。

Next, touch your head.

→頭を触ってしまったらNG。

Simon says walk around.

→児童、教室内を歩く。

Stop!

→止まってしまったらNG。

②実践2時間目 (20分)

ア 集中力ゲーム (D) →

イ チャンツ I want to be～. (A・B)

※英語ノートCDのチャンツを聞き、それぞれの職業名の発音練習をさせる。リズム良く反復練習させる。

ウ **将来の夢の聞き取り (C)**

※英語ノートCDの英語を聞き、何の職業に就きたいのかを聞き取らせる。その際、チャンツで練習した I want to be～. のフレーズをヒントに聞き取らせるようにする。英語ノートの絵をヒントにさせ、何度も聞かせる中で、聞き取れるようにさせる。すぐに聞き取れた児童には、話者の名や国名、その職業でやりたいことなど職業名の他にどんなことを言っているかに着目させる。

■この授業での評価：将来の夢の紹介のしかたを知ろうとしている。〈行動観察〉

*3人の児童を選び、前に出てきてもらう。そして別々の職業名をこっそりと決めてもらい、同時に発音する。3人以外は聞き手となり、3つの職業名を聞き分けるというゲーム。

発音する側は、わかりやすいものを小声で言ったり早口で言ったりと、工夫をさせ、聞く側には集中して聞く人を決めておく、などの工夫をさせる。

③実践3時間目 (45分)

ア チャンツ What do you want to be? (C)

※英語ノートCDのチャンツを聞き、なりたい職業をたずねる表現の発音練習をさせる。リズム良く反復練習させる。

イ **インタビューゲーム (D)**

※チャンツで学習した表現を使い、児童どうしでインタビューさせる。活動の前に答えとする職業名を既習の中から一つ選ばせておく。インタビューした内容は英語ノートに書かせる。10名の友だちや先生にインタビューできたら着席させる。

ウ **ラインゲーム (A・B)** →

■この授業での評価：将来の夢について意欲的に尋ね、答えている。〈行動観察〉

*児童は一列に並べられた職業絵カード(大判)の両端からスタートし、カードを指差してそこに書かれている職業について、I want to be a ～. と言いながら中心に向かって進んでいく。もう一人と相対したところで、一方の児童が What do you want to be? と尋ね、もう一方はそれに答える。尋ねた児童には予め自分の決めている職業名があり、そのカードを伏せて持っている。それが、答えた児童と同じ職業名だったときには、尋ねた児童は勝ちとなり、さらに進める。異なる職業名だった場合は、答えた方の児童が勝ちとなりさらに進む。相手陣地まで到達したら1ポイント。制限時間での総得点で競うというゲーム。

5 ふりかえりカード

ふりかえりカード 5・6年生用

()月()日 ()年()組 名前()

今日の授業をふりかえりましょう。あてはまる番号の○をぬりましょう。

<Active> すずんで英語を言えましたか。

とても言えた 5 まあまあ言えた 4 ふつう 3 少し言えた 2 あまり言えなかった 1

<Big voice> 大きな声で英語を言えましたか。

とても大きい 5 まあまあ大きい 4 ふつう 3 ちょっと小さい 2 とても小さい 1

<Careful> 先生や友だちの話を聞けましたか。

よく聞けた 5 だいたい聞けた 4 ふつう 3 少しは聞けた 2 あまり聞けなかった 1


<Design> やり方を自分なりに考えることができましたか。

いろいろ考えた 5 まあまあ考えた 4 ふつう 3 少しは考えた 2 あまり考えなかった 1

<Enjoy> 楽しかったですか。

とても楽しかった 5 まあまあ楽しかった 4 ふつう 3 少しは楽しかった 2 あまり楽しけなかった 1

今日の授業の感想を書きましょう



(使い方)
授業の終わりの5分で児童に書いてもらう。
「今日は、ABCDEの中でも特にB(よく聞く)ということ頑張ってみよう」などと、本時の「めあて」をこの5つの観点とリンクさせて与えると、児童も取り組みやすくなる。

それぞれの観点は、児童でも自己評価ができるよう簡易な視点とした。

- A・B → 言う
- C → 聞く
- D → 考える・工夫する
- E → 楽しむ

感想欄は、児童に自由に書かせたり、本時の見取りの観点に関わることを書かせたりと多目的に使える。

<資料>児童が実際に書いた「ふりかえりカード」

ふりかえりカード 5・6年生用

今日の授業をふりかえりましょう。あてはまる番号の○をぬりましょう。

<Active> すずんで英語を言えましたか。

とても言えた 5 まあまあ言えた 4 ふつう 3 少し言えた 2 あまり言えなかった 1

<Big voice> 大きな声で英語を言えましたか。

とても大きい 5 まあまあ大きい 4 ふつう 3 ちょっと小さい 2 とても小さい 1

<Careful> 先生や友だちの話を聞けましたか。

よく聞けた 5 だいたい聞けた 4 ふつう 3 少しは聞けた 2 あまり聞けなかった 1

<Design> やり方を自分なりに考えることができましたか。

いろいろ考えた 5 まあまあ考えた 4 ふつう 3 少しは考えた 2 あまり考えなかった 1

<Enjoy> 楽しかったですか。

とても楽しかった 5 まあまあ楽しかった 4 ふつう 3 少しは楽しかった 2 あまり楽しけなかった 1

今日の授業の感想を書きましょう

今日はいっしょに積極的の言葉の
学習が、



ふりかえりカード 5・6年生用

今日の授業をふりかえりましょう。あてはまる番号の○をぬりましょう。

<Active> すずんで英語を言えましたか。

とても言えた 5 まあまあ言えた 4 ふつう 3 少し言えた 2 あまり言えなかった 1

<Big voice> 大きな声で英語を言えましたか。

とても大きい 5 まあまあ大きい 4 ふつう 3 ちょっと小さい 2 とても小さい 1

<Careful> 先生や友だちの話を聞けましたか。

よく聞けた 5 だいたい聞けた 4 ふつう 3 少しは聞けた 2 あまり聞けなかった 1

<Design> やり方を自分なりに考えることができましたか。


いろいろ考えた 5 まあまあ考えた 4 ふつう 3 少しは考えた 2 あまり考えなかった 1

<Enjoy> 楽しかったですか。

とても楽しかった 5 まあまあ楽しかった 4 ふつう 3 少しは楽しかった 2 あまり楽しけなかった 1

今日の授業の感想を書きましょう

授業のはじめのほうより、
スラスラ言えるようになったの
で、とてもうれしかった。



8 見取りを活かした所見例

No.	児童名	1時間目					2時間目					3時間目					4時間目									
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E					
												○	○													○

「自己紹介をしよう」の会話活動では、聞き取りやすい声の大きさで、相手の目を見ながら伝えようとしていました。

No.	児童名	1時間目					2時間目					3時間目					4時間目									
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E					
									○																	

「ランチメニューを作ろう」の会話活動では、積極的に ALT の話を聞き、さまざまな料理の表現に親しむことができた。

No.	児童名	1時間目					2時間目					3時間目					4時間目									
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E					
					○				○																	

「インタビューをしよう」では、聞きたいことを決めて練習しておき、浅草の外国人観光客と笑顔でコミュニケーションをとることができた。

<その他の所見例>

「①外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深める」に関するもの

- ・イギリスのクリスマスの様子について興味を持って ALT の話を聞き、日本のクリスマスとの違いを意識することができました。<観点C>
- ・ALT の発音を注意深く聞く中で、複数形の時には単語の終わりに s の音がついていることに気づき、自分で積極的に使おうとしていました。<観点C・D>

「②外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る」に関するもの

- ・初めての単語も何度も聞くうちにわかり、会話活動でスラスラ伝えられるようになる楽しさを感じることができました。<観点E>
- ・時刻を扱った会話活動では ALT に笑顔で「何時に〇〇しますか？」と尋ねるなど、表情豊かに会話活動をしようとしていました。<観点A・B>

「③外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる」に関するもの

- ・行ってみたい国やその理由を伝え合う活動では、起きる時間や入浴の時間など、リズムよく英語を発音しようとしていました。<観点A・B>
- ・時刻を扱った会話活動では、友達に「何時に〇〇しますか？」と聞いたり、友達からの質問に適切に答えたりしていました。<観点A・B・C>
- ・道案内の表現活動では ALT の発音する left, right, go straightなどを注意深く聞き、正確に位置を把握しようとしていました。<観点C>
- ・会話を楽しむだけでなく発音や聞き取りをしっかり反復練習し、少しでも自分のものにしようとして積極的に参加できました。<観点D>

外国語活動学習指導案

平成 22 年〇月〇日 (〇) 第〇校時

第〇学年〇組 指導者 (T1) 〇〇 〇〇

外国語活動支援員 (T2) 〇〇 〇〇

〔授業改善の視点〕

買い物の場面で使用する表現を知り、1対1で表現の練習を十分にできるように活動を工夫することで、児童は楽しみながら言語に慣れ親しむことができるであろう。

1 単元名「Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう」

2 単元の考察

(1) 児童の実態 (男子 15 名, 女子 16 名, 計 31 名)

7月初旬に行った外国語活動についてのアンケート「外国語活動の授業は楽しい」という項目において、90%の児童が「そう思う」、「だいたいそう思う」と答えており、4月から始まった外国語活動にたいへん意欲的に取り組んでいる。その反面、授業終了時に毎回行っている振り返りカードでは「～はもう知っていたから簡単だった」や「歌を歌うことは少しはずかしい」といった感想が見られる。表現を指導者やCDから学ぶ場面や声を出して慣れ親しんだりする活動では、飽きが来ないように支援したり、傍で声を一緒に出せるよう声かけをしたりするなど配慮が必要な児童もいる。

〈コミュニケーションを図ろうとする態度〉

これまでの外国語活動を通して、友人に自分の想いを伝えることが楽しいと感じられる児童が増えてきている。ゲームを通じて、たくさんの友人に声を掛けられたこと、相手と視線を合わせたり、声の大きさやはやさに注意したりしながら活動できたことに達成感を感じている児童も多い。中には、英語の発声に自信がもてずに不安・はずかしいといった児童もいるが決められた表現を用いてのゲーム活動では、どの児童も意欲的に活動できるようになってきた。

しかし、相手の言っている言葉を分かろうとしたり、話を最後まで聞いてから答えたりする姿勢にはさらに支援が必要である。活動の際には、相手の言葉を尊重する態度を指導者自ら意図的に演じることで児童にしっかりと意識させていく。

〈言語や文化についての体験的な理解〉

1学期に学習した「数で遊ぼう」についての単元では、いろいろな国の数の数え方を知り、「テレビで聞いたことがある」「初めて聞いた」など、数え方一つとっても様々な違いが世界にあることを知るようになった。また、「ジェスチャーをしよう」の単元では様々な外国語のじゃんけんを通して、日本との共通点を見いだすとともに、日本と異なる考え方があることに驚きを示す児童が多かった。外国語活動を通して世界の様々な事象について関心を示す児童が増え、自主勉強で調べたり、外国で起こったニュースについて詳しく担任に伝える児童が見られるようになった。

〈外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ〉

これまでの学習はあいさつ・数字など、どこかで口にしたり、耳にしたりした、児童にとっては親しみやすい表現が中心であった。そのため、教師やCDの英語を聞き漏らさないよう気をつけたり、まねをして言おうとしたりする姿勢には課題を感じる。

今後、学習を進めるにつれ、扱う表現や、学ぶ語彙が次第に増えていく。児童の外国語活動への意欲を継続し高めていくためにも、指導者の英語を熱心に聞きとろうとする姿勢や、しっかり声に

出す経験を積ませることはとても大切である。それらをくり返し、取り上げていくことで児童のコミュニケーションで活用できる幅を広げていきたい。

(2) 教材観

この時期の5年生は雑誌やテレビまたは、友人などの影響からファッションやデザインについて興味や関心が高まり、実際身に付けている衣服についても好みが出てくる時期である。

本単元「外国の衣装を知ろう」では世界の衣装を紹介しながら、様々な普段着の言い方を知り、買い物の場面を設定して、実際に買い物をする場面の疑似体験をする。それらの活動の中で自分の好き嫌いを色やデザインを手がかりに、はっきりと言う体験をさせていく。

児童はLesson4「自己紹介をしよう」の単元において「Do you like～?」「Yes, I do./No, I don't.」の表現を学び自分の好みを相手に伝える活動を行った。今回、主として用いる表現「Do you have～?」は、買い物の場面以外にも使用頻度の高い会話表現であり、児童は様々な活動を通して慣れ親しむことでコミュニケーションの幅が広がると考える。

また、「Yes, I do./No, I don't.」など自分の気持ちを相手に伝えることに終始する余り、語調が必要以上に強くなりすぎたり、相手が言い終わらないうちに答えたりする児童が見られた。今回は買い物のアクティビティーを3・4時に予定している。「Here you are./Thank you」など相手への思いやりの言葉がけについては、日本語でも外国語活動において共通して尊重していく態度を身につけさせたい。そこで自分や相手が気持ちよく買い物できるための声かけや声の調子についてもふれて考えさせていく。

(3) 校内研修とのかかわり

本校は「外国の言語や文化に親しみ進んでコミュニケーションを図る児童の育成」をテーマに、副主題「指導に生かす評価の在り方」について研修を進めている

各時で、ねらいをおおむね達成している児童の姿のみとりを明確にすることで、達していない児童の指導・支援につなげていく。

本時の評価項目は外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみに重点をおき、教師と児童、または児童同士の1対1で伝えあう活動を多く取り入れることで「Do you have～?」「Do you like～?」「Yes, I do./No, I don't.」など、児童が自分の思いを伝えていく場面を設定した。それらの活動での児童の取り組みの様子を見取ることで、アクティビティー中の教師の問いかけや支援に反映させ、次時の活動への期待や安心感につなげられるよう声かけをしていく。

3 目標

世界の国々の衣服に興味をもち、英語を使って買い物をする楽しさを体験したり、好きな衣服について友達に紹介したりする。

4 指導方針

- ・英語でのコミュニケーションを楽しもうとする雰囲気づくりのために、授業の導入に置いて、すべての児童が授業者と1対1で対話する機会をもつ。
- ・表現を知る場面では、児童の理解の手助けとなるように、絵カードや画像を効果的に提示する。
- ・GO FISHゲームではゲームのルールについて子どもたちが理解しやすいよう、デモンストレーションの仕方を工夫する。
- ・英語での買い物の表現を知る場面では、英語ノートの挿絵を手がかりに推測させ興味をもたせる。
- ・本単元で学習する表現を児童が無理なく身につけられるよう、1時間の授業だけでなく、単元全体を通して同じ表現を扱ったり、次時で児童が学習する表現を活動や指導の中で意図的に取り入れて聞かせたりする。

- ・慣れ親しみの場面では、児童が意見や好みをはっきり伝えられるよう、児童自身の着てみたい服やデザインを手がかりに質問する。
- ・買い物の疑似体験の場面では、優しく言ったり、無愛想に言ったりするなど様々な言い方について考えさせ、相手の気持ちを考えた言い方について児童に体験させる。
- ・はずかしがったり、発声に自信がもてなかったりして、活動に参加できない児童には、そばに寄り添って一緒に言葉を発したり、始めの言葉のヒントを与えたりして支援する。
- ・活動の達成感をもたせ、今後の学習意欲を高められるように、授業終了時には各活動の場面の良かったところを具体的に褒めるようにする。

5 指導と評価の計画〈4時間予定〉

評価 規 準	①コミュニケーションを図ろうとする態度 ・疑似体験で積極的に英語を使って買い物をしようとする。					
	②言語や文化についての体験的な理解 ・世界には様々な衣服があることを知り、その言い方に興味をもつ。					
③外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ ・買い物の場面で、店に商品があるかないか尋ねたり、答えたりする活動を通して、表現に慣れ親しむ。						
時 数	●ねらい ○主な学習活動	評価の観点			評価項目 【評価方法】	支援及び留意点
		①	②	③		
1	<p>●世界には様々な衣服があることを知り、その言い方を知る。</p> <p>○Let's Listen(p.30-31) CD の会話を聞いて、どのペアが話しているかを聞き取る。</p> <p>○Activity 衣服絵カードを見せながら衣服と色の言い方を確認させる。</p> <p>○p.32 の絵を見て、好きな色や嫌いな色、デザインなどの紹介の仕方を知る。巻末の絵カードから着てみたい衣服を選び、好きな色を塗ったり、デザインをかいたりする。</p> <p>○Let's Chant(p.31) ♪Do you have a cap? ♪</p>		○		<p>世界には様々な衣服があることを知る。</p> <p>【行動観察】 【ワークシート】</p>	<p>○外国の衣装について写真や具体物を提示することで、理解を深めさせる。</p> <p>・飽きずに何度も練習できるように発音の仕方や速さを工夫する。</p> <p>・指導者が好きな色や嫌いな色を紹介する際には、表情やジェスチャーをおおげさにしてみせることでその意味が十分に伝わるようにする。</p> <p>衣服絵カードを指し示しながら、児童に衣服の言い方がより分かるようにする。</p>

2 本時	<p>●自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気付くとともに、好きな衣服を買う場面で使われる表現を知る。</p> <p>○Let's Chant(p.31) ♪Do you have a cap? ♪</p> <p>○p.33を見て質問に答える。</p> <p>○Let's Listen(p.33) CDを聞き、わかったことを発表する。</p> <p>○GO FISHゲームをする。</p> <p>○自分の好みで自分だけの衣服絵カードを作成する。</p>			○	<p>1対1で質問された際に、自分の思いを伝えようとしている。</p> <p>【行動観察】</p>	<p>・飽きずに何度も練習できるような衣服の色を代えたり、ジェスチャーを加えたりしながら練習する。</p> <p>・英語ノートの絵から場面を推測させ、CDのやりとりの状況をとらえやすくさせる。</p> <p>○ルールややり方についてしっかり理解させるために、指導者のデモンストレーションをゆっくり行ったり、数回くり返したりする。</p> <p>・児童が絵カードを作成している間に、1対1で質問し、自分の意見をしっかり言葉で表現させる。</p>
3	<p>●好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるような声かけをしたりして、買い物を楽しむ。</p> <p>○Let's Chant(p.31) ♪Do you have a cap? ♪</p> <p>○Let's Listen(p.33) p.33の絵を見て、場面にあった店員と客のせりふを考える。</p> <p>○Activity(p.34) 買い物をする。</p>			○	<p>相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしている。</p> <p>【行動観察】</p>	<p>・CDを再度聞き、買い物の場面でのやりとりについて確認する。</p> <p>・優しく言ったり、無愛想に言ったりするなど様々な言い方について考えさせ、相手の気持ちを考えた言い方について児童に体験させる。</p> <p>・スムーズにやりとりのできていない児童には、そばに寄り添って一緒に言葉を発したり、始めの言葉のヒントを与えることで、安心して活動できるよう支援する。</p>

4	<p>●聞き手に買ったものがきちんと伝わるように発表する。</p> <p>○Let's Listen(p.35) CD を聞いて、買ったものとその色とを線で結ぶ。</p> <p>○CD を再度聞いて、発表の仕方を知る。</p> <p>○Activity 2 (p.35)発表をする。</p>	○			<p>自分の買った服を紹介する。</p> <p>【行動観察】</p>	<p>・どのように発表しているかを理解させることで、スピーチの仕方について考えさせる。</p> <p>・スピーチ用の用紙をもたせ、それをもとに発表させることで自信をもって発表できるようにする。</p> <p>・練習している間、個別にアドバイスをし、言いにくそうにしている児童には一緒にスピーチ練習を行う。</p>
---	---	---	--	--	------------------------------------	--

6 本時の学習

(1) ねらい

衣服を買う場面で使われる表現を知り、自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気づくことができる。

(2) 準備

英語ゆっくり CD 英語ノート 衣装絵カード 巻末絵カード

(3) 使用表現

(4) 展開 Do you have ~? Yes,I do. No,I don't.

時間	児童の活動	指導者の活動		※指導上の留意点 △準備
		T1	T2	
5	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 一人ひとりが指導者とあいさつをし、自分のその時の様子を答える。 	<p>Hello everyone!</p> <p>児童を分担して、個別にあいさつをする。</p> <p>Hello, how are you?</p> <p>Are you fine/ happy/hungry/sleepy?</p>		<p>※視線を合わせてあいさつをすること、最後まで笑顔を見せることを心がける。</p> <p>※児童の返答に対し、Me too. Are you OK? などと返す。</p>
5	<p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う 	<p>衣装絵カードを見せながらチャンツを言う。</p>		<p>※児童が言いやすくなるよう、CD に合わせて、黒板に貼られた絵カードを指し示す。</p> <p>※児童が慣れてきたら、スピードを変えたり、単語を入れ替えたりして、飽きずにチャンツを言えるようにする。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> 英語ノート P.33 を開け、質問に答える。 <p>【Let's Listen】</p> <ul style="list-style-type: none"> CD を聞き、わかったことを発表す 	<ul style="list-style-type: none"> 英語ノート P.33 のお店にある品物について、児童に尋ねる。 <p>Look at the picture on page 33.</p> <p>How many T-shirts/pants/skirts/shoes/socks are there?</p>	<ul style="list-style-type: none"> CD を聞いてわかったことを尋ねる。 <p>What color is the cap/hat?</p>	<p>※英語ノートの絵を見て、何がいくつあるか、少女が何をしようとしているかなどを質問することで、児童に絵に興味をもたせたり、状況を理解させたりする。</p> <p>※CD から聞きとれたことを推測させることで本時の活動の</p>

	る。		Does the girl like yellow shoes?	めあてをもつ。
10	<p>【Let's Play】</p> <p>・GO FISH ゲームをする。</p>	<p>・GO FISH ゲームをすることを告げ、やり方をデモンストレーションで確認する。</p> <p>Do you have a T-shirt? Thank you. No. Go fish!</p>	<p>Yes. Here you are. You're welcome. Do you have a T-shirt? OK.</p>	<p>※指導者のデモンストレーションはゆっくり行ったり、数回繰り返すことでルールややり方についてよく理解させる。</p> <p>※勝敗が決したグループには、2度目をするよう指示する。</p> <p>※Yes/No どちらでも相手が不快に思わないよう答え方を配慮させる。</p>
<p>評価項目【評価方法】</p> <p>1対1で質問された際に、自分の思いを伝えようとしている。【行動観察】</p>				
10	<p>【Activity】</p> <p>・巻末絵カード(P.67)に好きな色を塗り、自分の衣装絵カードを作成する。</p>	<p>・次時の用意をするよう告げる。</p> <p>・巻末絵カード(P.67)を切り取り、それぞれに好きな色を塗る。</p> <p>Next class we are going to play the Shopping Game. So today let's prepare for that. Look at the picture on page 67. Cut them out and color them. Can you say what they are in English?</p>		<p>※指導者は児童が絵カードに色を塗っている間に、個別に児童にその絵カードについて質問し、自分の意見をしっかりと言葉で表現できるよう励ます。</p> <p>Do you like~/Do you have~/ What's this? また、答えられたことを認め、称賛し次時の活動への意欲をうながす。</p>
3	ワークシートに記入し、振り返る。	態度面についてほめる。	英語についてよかったことを言う。	※次時の意欲につながるように、具体的に児童の良かった点を評価する。

(5) 板書計画

<div data-bbox="256 1543 823 1778" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>衣装絵カード</p> </div>	<div data-bbox="949 1503 1345 1904" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>英語ノート P33 拡大図</p> </div>
--	--

外国語活動学習指導案

平成22年〇月〇日（〇）第〇校時

6年〇組 指導者 〇〇 〇〇

ALT 〇〇 〇〇

I 単元名 友達の誕生日を知ろう （英語ノート2 Lesson3 文部科学省）

II 考察

（1）児童の実態

本学級は、男子15名、女子20名、計35名から成る。本活動に関わる生徒の実態を日常観察およびアンケート結果などから次のように考察した。

〔言語や文化についての体験的な理解〕

外国語活動の時間を通して身につけたい能力について具体的に答えられる児童が多い中、実際に「外国人の友達を作りたい」「将来外国に行ってみたい」という希望のある児童はあまり多くない。英語は使えるようになりたいが、実際に使いこなす場面のイメージが浮かばないことが考えられる。学習した内容を、どのような場面で生かすことができるのかを考えさせ、できればそれを体験できる機会を設けることが必要である。

〔積極的にコミュニケーションを図る態度〕

本学級の児童のうち、33名が「外国語活動が好きである」と答えている。特にどんな活動が好きかという問いに対して、「英語であいさつをする」「アルファベットかるたなどのゲームをする」「英語の歌を歌う」「先生や友達と英語で話す」などの活動を挙げる児童が多いことがわかった。実際にこれらの活動に対して意欲的に取り組む児童が多く見られ、和気あいあいとした雰囲気の中で授業が行われている。また、外国語活動の時間を通してどんな力をつけたいかという問いに対しては、「英語を自由に話せるようになりたい」という回答がもっとも多く、同時に「英語で書かれたものを読めるようになりたい」と答える児童も同じ数であった。ほかにも、「英語を自由に書けるようになりたい」「英語を聞いてすぐ意味がわかるようになりたい」という回答も多く、英語を身につけ使用することへの関心が高いことがわかる。英語の文字については、すでにアルファベットの大文字および小文字の学習を終えているが、授業中は文字を書かせる活動をほとんど行っていないにもかかわらず、英語を読むことや書くことに興味があり、学級に設置した「英語ひろば」（英語が書かれたポスターなどの掲示や英語に関する書籍の配置）にときどき行って掲示物を見たり本を読んだりする児童もいる。数名の児童は塾などで英語を学んでおり、曜日や月名も英語で書ける児童もいる。

一方で、外国語活動の時間において不安なことがあるかという問いには、「不安がある」と答えた児童は28名にも上った。そのうち、「英語（の発音）が聞き取れないことがある」と答えた児童が21名、「自分の発音が正しいか心配だ」が17名、「英語を話すのがはずかしい」が8名いた。普段から友達とコミュニケーションをとるのが苦手な児童は、授業中英語を話す活動に対して消極的であり、声が小さく、アイコンタクトもきちんとできていない様子が見られる。間違ってもよいのだという共通理解のもとで、コミュニケーションの楽しさを実感させることが必要である。

〔外国語の音声や基本的な表現〕

授業開始時にあいさつを行っているが、How are you? の問いに対してほとんどの児童がいつも同じ答え方

をしている現状である。基本的なやりとりの方法は理解していながら、場に応じた適切な表現の工夫ができていないと考えられる。また、授業中の教師による Thank you. や Are you ready? などに対する返答ができていないため、正確な返答は要求しないが、なんらかの返事ができるようにする必要はあると考える。音声については、全員で声を出す場面では大きな声が出せるが、個々になると小さくなってしまふことがある。英語特有の音声やリズムに慣れてきている児童もいれば、もう少し練習が必要な児童もいる。

(2) 教材観

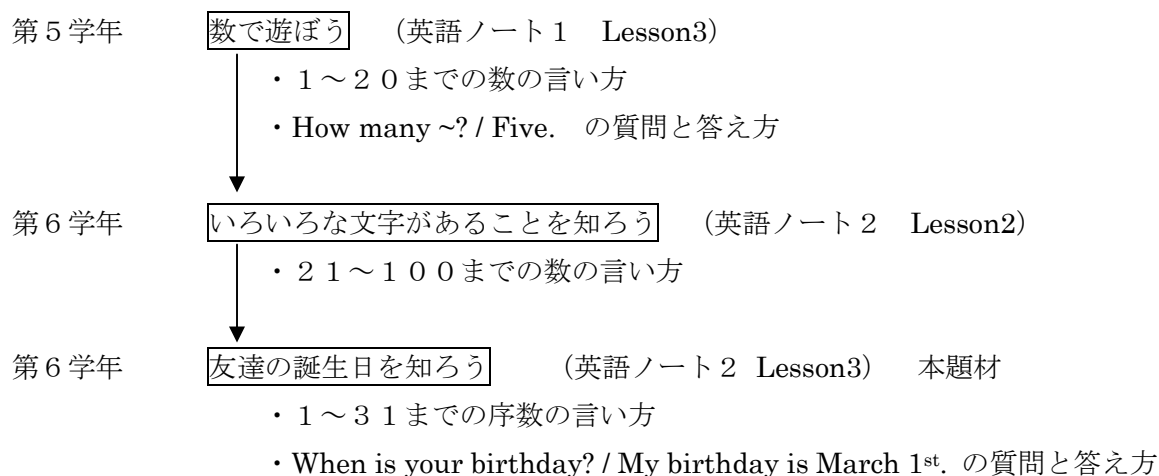
本活動では、世界と日本の祭りや行事を通して、月名を英語でどう言うかを知り、互いに誕生日を尋ねたり答えたりする活動を行う。

日本には季節ごとの行事が多く、地域によって差はあるものの、全国的に大半の場所で季節は同じであるため、ほとんど誰でもその行事を知っている。そこでいろいろな行事を通して改めて日本の文化に触れながら月名の言い方に慣れ親しむことをひとつのねらいとする。さらに本活動では外国の3つの行事や祭り（ハロウィン、クリスマス、中国の正月）を紹介し、日本だけでなく世界に目を向けさせ、世界の文化や伝統にも興味を持たせるような内容となっている。

月名の言い方は、普段は聞き慣れないが、今ではカレンダーなどに曜日や月名が英語で書かれているものも多いので、なんとなく知っている児童もいることが予想される。行事と関連させて月名を言うことに慣れてきたら自分の誕生日の言い方を学ぶ。序数の言い方は、カレンダーを活用したり、野球のベースの呼び方を参考にさせたりしながら、テンポ良く言わせる練習を行う。

日常生活において When~? などという質問に対して、It's ~. や On June 13th. ~in June. と答えるような場面は多いが、自分の誕生日を人に伝えたり、相手の誕生日を尋ねたりする機会はあまりない。また、本学級の児童は単学級であり、ほとんどの児童が互いの誕生日をすでに知っているという状況である。そこで、友達同士で基本的なやりとりができれば、有名人の写真などを使って、その人にインタビューしようという活動を取り入れて、言語材料が使用される場面をより具体的にさせたい。

(3) 教材の系統



(4) 指導方針および学習活動への支援

○各時間のねらい（めあて）を明確にし、授業開始時に板書して児童に周知させる。また、ねらいを達成するためにどのように活動に取り組むべきかを伝えることで、より具体的に活動に対する姿勢をイメージさせる。

○学習形態（特にグループ、ペア学習）を工夫し、友達同士で楽しく協力しながら活動を進めさせる。

○本校の目指す児童像である「自分の思いや考えをもつ力」「自分の言葉で思いや考えをわかりやすく伝える力」「大事なことを落とさないで聴く力」のある児童の育成に向け、特に外国語活動においては双方向の言語活動を重点にし、授業の中で意図的にその機会を設ける。

○授業中はできるだけクラスルームイングリッシュを使用し、英語学習の雰囲気作りに努める。また、既習の表現は積極的に使い、継続的な指導を心がけ、児童への定着を促す。

○音声指導を充実させるため、主に ALT が発音等の指導を行い、ALT に通じるような適切な音声で話しているかどうかを検証させる場面を設け、成就感を持たせるようにする。

○英語の音声を意識しながら言語活動ができるよう、例を示しながら指導にあたる。また、ジェスチャーやアイコンタクトの重要性に気づかせる。

○基本的な表現を定着させるための繰り返し練習は、ある程度自信が持てるようになるくらいの回数にとどめる。

○基本的に「英語ノート2」を使用し、児童の実態に合わせて活動の加除や変更を行う。各活動が効果的に行われるよう、必要に応じた教具やワークシートを準備する。

○絵や写真のほかCDなど、生徒の視聴覚を刺激する教具を用いて興味を喚起・持続させるようにする。また、児童になじみのある有名人や本、テレビ番組などの固有名詞を積極的に使い、児童が学習した内容を実際に「使ってみたい」と思えるようにする。

○授業の最後に「振り返りカード」へ記入をさせ、自己評価をさせる。題材が終わったときにはまとめとして感想を書かせる。

○月の名前を覚える上で役立つ規則性（January, February や September, October, November, December の発音）に気づかせ、チャンツを活用してテンポ良く言わせる。

○月の名前の学習と日本や外国の伝統行事・文化を関連づけることで、国際理解の態度を養う。

○友達の誕生日を尋ねたり答えたりする活動を通して、英語によるコミュニケーションの楽しさを実感させる。

(5) 授業中における生徒指導

【多面的な児童理解の充実】

対話をしながら観察を怠らないようにし、ティームティーチングを生かして2人の教師ができるだけ多くの児童とコミュニケーションを図り、生徒の理解度に応じたきめ細かな個別支援が行われるようにする。努力が見られた場合には、その場で賞賛の言葉をかけるよう心がける。

【自己存在感や自己決定の場を与える工夫】

「自分をひらく」ことの重要性に気づかせ、すすんで自分の思いや意見を伝える努力ができる児童の育成に努める。また、言語活動において自分で選択（決定）した方法で取り組むような場面を設定し、主体的な学びが行われるよう心がける。

【共感的な理解ができる学級の雰囲気作り】

ペアやグループ活動などを積極的に取り入れた授業を構成し、他の人の表現をあたかかく受容的な態度で聞くよう助言する。英語を話すのがはずかしいと感じている児童がいるため、間違ってもよいのだという共通理解のもとで各活動が行われるような雰囲気作りに努める。

Ⅲ 指導目標

1. 世界と日本の祭りや行事に興味を持つ。
2. 積極的に友達に誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりする。
3. 英語での月の言い方や、誕生日の言い方に慣れ親しむ。

Ⅳ 評価規準

○言語や文化についての体験的な理解

- ・日本の季節の行事や外国の行事に興味を持ち、それらが何月のものかを理解している。

○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度

・相手を意識したコミュニケーションを心がけ、互いに誕生日を尋ね合う活動に意欲的に参加している。

○外国語の音声や基本的な表現

- ・誕生日についてのまとまった話を聞いて、その内容を理解している。
- ・数字の言い方と誕生日の言い方の違いに気づき、自分の誕生日の言い方を知っている。

Ⅴ 指導計画および評価の計画（4時間予定 本時はその1時間目）

時間	学 習 内 容	支 援 等	評価項目<評価方法> ○おおむね満足 ◎十分満足
1 本 時	<p>○日本の季節の行事や特徴を伝え、英語での月の言い方を知る。</p> <p>Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に貼られた絵を見て、何月と関係があるか考える。 <p>Let's Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT が絵の説明をするのを聞き、その絵がどの国で何月に行われる行事か考える。 <p>Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツで月の名前を言う。 <p>Consolidation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを用いることで児童の興味を喚起する。 ・絵カードに書かれたそれぞれの行事などについて、教師が児童に関連する質問をするなど、活動の間はできるだけコミュニケーションの機会を増やす。 ・ハロウィン、クリスマスは児童にもなじみがあるが、中国の正月については補足説明をしたり写真を見せたりする。 ・チャンツは、リズムが大切であることを告げ、テンポ良く練習させる。 	<p>○日本の季節の行事に興味を持ち、それらが何月のものかを答えようとしている。</p> <p>◎日本の季節の行事に興味を持ち、それらについての教師の説明に耳を傾け、それらが何月のものかわかり、答えている。</p> <p>【言語や文化についての体験的な理解】</p> <p><行動観察、英語ノート点検></p>

<p>2</p>	<p>○自分の誕生日を言う。 Let's Chant ・チャンツの復習をする。 Let's Play ・ミッシング・ゲームをする。 Activity ・自分の誕生日の言い方を聞き、練習したり発表したりする。 Consolidation ・振り返りカードに記入する。</p>	<p>・ミッシング・ゲームで行う月名の練習では、繰り返しの練習に飽きさせないように指名の方法を変えるなどして工夫する。 ・黒板掲示用のカレンダーを活用し、視覚に訴える。 ・個別に指導が必要な児童に対して二人の教師が対応する。</p>	<p>○誕生日の言い方の特徴を知り、自分の誕生日を言おうとしている。 ◎誕生日の言い方を理解し、自分の誕生日を発表している。 【外国語の音声や基本的な表現】 <行動観察、発表観察></p>
<p>3</p>	<p>○誕生日についてまとまった話を聞いてその概要を理解する。 Let's Chant ・チャンツの復習をする。 Let's Play ・ステレオ・ゲームをする。 Let's Listen ・ALTの英語を聞き、誰の誕生日を言っているのか考え、ノートに番号を記入する。 Consolidation ・振り返りカードに記入する。</p>	<p>・ステレオ・ゲームでは、前に出た児童に大きな声で自分の誕生月を言わせる。それ以外の児童には When is your birthday? と大きな声で尋ねるようにさせる。 ・ALTの読む文には、自己紹介の表現も含まれているので、復習させる。 ・個別に指導が必要な児童に対して主に HRT が対応する。</p>	<p>○誕生日についてのまとまった話を聞いて、その概要がだいたいわかり、表に番号を記入しようとしている。 ◎誕生日についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解し、表に番号を記入したり、自分の考えを発表したりしている。 【外国語の音声や基本的な表現】 <行動観察、英語ノート点検></p>
<p>4</p>	<p>○自分や友達の誕生日について尋ねたり答えたりする。 Let's Chant ・チャンツの復習をする Activity1 ・月の名前の方の言い方の頭文字を考えてノートに記入する。 Activity2 ・友達に誕生日を聞いて、名前と誕生日をノートに記入する。 Activity3 ・有名人に扮したALTに、誕生日を尋ねる活動を行う。 Consolidation ・振り返りカードに記入し、Lesson 3を終えた感想を書く。</p>	<p>・Activity1は、確認程度にとどめ、正確な解答ができなくてもよいこととする。 ・Activity2では、単に誕生日を尋ね合うだけの活動をさせるのではなく、あいさつや対話のマナーにも留意させて行わせる。 ・Activity3では、学習した表現がALTに通じるかを検証する場面とするが、児童になじみのある有名人のポスターを活用し、リラックスして取り組ませるようにする。</p>	<p>○友達に誕生日を尋ねたり答えたりする活動に、すすんで取り組んでいる。 ◎アイコンタクトや声量などに気をつけて、友達に質問したり答えたりしている。 【積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度】 <行動観察、英語ノート点検></p>

VI 本時の学習

(1) 目標 (ねらい)

日本の季節の行事や特徴を伝え、英語での月の言い方を知る。

(2) 準備 教師：英語ノート、筆記用具

生徒：英語ノート、イラストカード、月の絵カード、ハロウィンなどの写真、チャンツ CD

(3) 展開

学 習 活 動	時 間	支援・指導上の留意点		評価項目【観点】 <方法>
		HRT	ALT	
Greeting ・ Hello. How are you?	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業開始時のあいさつを行う。 ・ 前後左右の友達にあいさつをさせ、今日の気分や調子について数名に尋ねる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいについて板書し、ねらい達成のための姿を児童に考えさせながら本時の見通しを立てさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の様子を観察する。 	
Warm-up ・ What's this? - It's ~. の復習	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月の絵カードだけではイメージしにくい月もあるため、季節に関連するイラストをカードにして、楽しく既習事項の復習をさせる。 ・ アルファベットの小文字の復習も兼ねて、イラストにはその頭文字をアルファベットで1文字書いておくようにする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ALT がわからないと予想されるもの(御輿など)については、児童にWhat's this?と聞かせ、問いの仕方を復習させる。 ・ ②、③の児童には個別支援を行い、It's ~. の言い方を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストカードを見せながら、What's this? と尋ねる。アルファベットがヒントとなることを告げる。 ・ 児童の質問に対して、It's ~.で答える。 ・ ①の児童に対して、賞賛の言葉をかける。 	

予想される児童像
①積極的に It's~. を用いて答えている。
②単語で答え、文になっていない。
③活動に対して消極的である。

<p>Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に貼られた絵を見て、何月と関係があるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される児童像</p> <p>①意欲的に行事の特徴を述べ、12月の月名を答えている。</p> <p>②行事の特徴を伝えようとしていない。</p> <p>③月名をすべて言うことができない。</p> </div>	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードとイラストを用いることで児童の興味を喚起する。 ・絵カードに書かれたそれぞれの行事などについて、教師が児童に関連する質問し、その特徴を言わせる。質問・答え、の形を繰り返し、双方向の言語活動の機会を増やす。 		<p>○おおむね満足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の季節の行事に興味を持ち、それらが何月のものかを答えようとしている。 <p>◎十分満足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の季節の行事に興味を持ち、それらについての教師の説明に耳を傾け、それらが何月のものかわかり、答えている。 <p>【言語や文化についての体験的な理解】</p> <p><行動観察、英語ノート点検></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・①の児童に対して、英語ノートへの記入をさせる。 ・②の児童に対して、個別に質問をして自分の考えを言わせるようにする。 ・③の児童に対して個別に支援を行い、月名の言い方を練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月名を英語で言う。状況に応じて、回数を調整する。 ・月名の規則性に児童が気づくことができよう、音声面の類似点や相違点を強調しながら発音する。 ・③の児童に対して個別に支援を行い、月名の言い方を練習させる。 			
<p>Let's Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTが絵の説明をするのを聞き、その絵がどの国で何月に行われる行事か考え、ノートに番号を記入する。 	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン、クリスマスは児童にもなじみがあるが、中国の正月については補足説明をしたり写真を見せたりする。 ・ALTの考えや体験談の内容をおよそ理解できたか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の説明を行う。必要に応じてジェスチャーなども用いる。 ・ハロウィン、クリスマスに関する情報や自分の考え、体験を伝える。 	
<p>Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツで月の名前を言う。 	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツは、リズムが大切であることを告げ、テンポ良く練習させる。 ・月名の言い方の特徴を再確認させる。 		
<p>Consolidation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいが達成できたかを自己評価させる。 ・終わりの挨拶を行う。 		

英文の指導計画例 1

Lesson: Eigo Noto Bk. 1 pg. 36-37 (Pattern 1)

Key Sentence: "What do you want?"

	ALT	HRT	Students
Greeting	Say hello to the students and ask basic questions (ex. Date, day weather, etc.)	Introduce the ALT and also greet students.	Say hello and answer questions.
Warm-Up Game/Vocab Review	Run picture Criss Cross or bingo to review vocab.	Criss Cross – serve as judge for which student was first Bingo – Circulate the room to make sure students play/understand	Play the warm up game.
Sample Dialog: “What do you want” “I want ~.” “Here you are.”	Have a sample discussion with the HRT so the students can hear the sample grammar.	After the dialog check in Japanese by asking students questions to see how much they understand.	Pay attention to dialog. Answer HRT’s questions.
Grammar Explanation	Explain in simple English/Japanese the target grammar	Assist in making the explanation clear and that students understand	Pay attention
Speaking Practice	Lead speaking practice	Practice speaking	Practice speaking
Card collecting Game	Explain the rules and keep track of time	Assist in understanding and keep order	Play the game
Review	Review the main points of the lesson	Assist	Pay attention
Farewell	Say Goodbye	Say Goodbye	Say Goodbye

Game Descriptions:

Criss Cross –

Goal – Get students answering questions and speaking.

Prep – Nothing (or large sized vocab cards.)

How to play –

- 1) All students stand up.
- 2) Teacher asks a question (or shows a vocabulary card) for the students to answer.
- 3) The first student who raises his hand gets to answer the question.
- 4) If the student is correct then he can sit down. However he also gets to choose from left, right, up, down, or alone. Any standing students in the chosen direction also get to sit down. (for longer games only the first student in that direction can sit down.)
- 5) Continue to play until time or until all students are sitting.

Card Collecting (Janken Version) –

Goal – Students ask the target grammar to classmates. Multiple practice.

Prep – Many poker-sized vocab cards.

How to play –

- 1) Distribute 3-5 vocab cards to each student. There should be plenty of leftovers.
- 2) When the game begins students find a partner and janken.
- 3) The losing student asks “What do you want?” and shows his cards.
- 4) The winning student replies “I want a ~ .) saying one of the losers cards, which the winner then receives.
- 5) Students find new partners and repeat.
- 6) If the student loses all cards, they can receive more from either teacher by saying “One more please.” The student then receives one card.
- 7) Game finishes when the teacher calls time. The teachers have the option of finding out which student collected the most cards.

英文の指導計画例 2

Lesson: Eigo Noto Bk. 1 pg. 36-37 (Pattern 2)

Key Sentence: "What do you want?"

	ALT	HRT	Students
Greeting	Say hello to the students and ask basic questions (ex. Date, day weather, etc.)	Introduce the ALT and also greet students.	Say hello and answer questions.
Vocabulary Practice	Show students vocabulary cards for speaking practice. (suggested there be no more than 10 new words.)	Classroom management.	Repeat vocabulary after ALT.
Grammar Explanation	Explain in simple English/Japanese the target grammar	Assist in making the explanation clear and that students understand	Pay attention
Speaking Practice	Lead speaking practice	Practice speaking	Practice speaking
Game - Memory	Explain the rules and keep track of time	Assist in understanding and keep order	Play the game
Review	Review the main points of the lesson	Assist	Pay attention
Farewell	Say Goodbye	Say Goodbye	Say Goodbye

Game Descriptions

Memory

Goal – Say the phrase “I want a ~”

Prep – Pairs of playing card sized vocab cards. Suggested total of 40 cards (20 pairs) per group.

How to play:

- 1) Students form groups of 4-6.
- 2) Each group places their cards face down on a desk.
- 3) Each student tries to match a pair of cards by turning them over one at a time.
- 4) Non-selecting group members ask the question “What do you want?” as the selecting student turns of the first card. That student answers the question with “I want a (card shown.)”
- 5) The student then chooses another card. If the pair of cards match, the student keeps them. If the chosen pair does not match the next student tries. (Variation: One a correct pair the student can be rewarded by trying again.)
- 6) This is repeated until all cards are matched.

(「確かな学力」向上推進委員会)

赤堀小学校 発 NO. 1

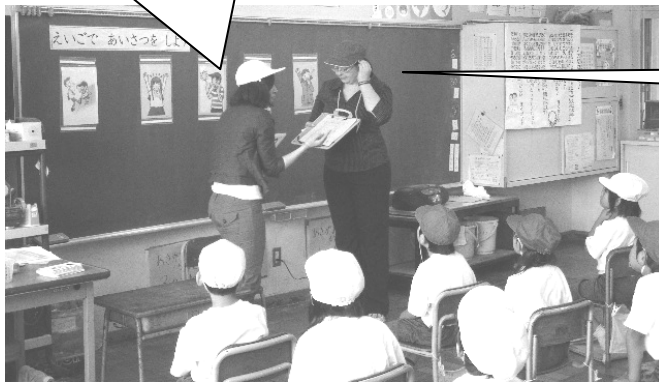
平成22年8月6日

ALTや支援助手と 担任の役割分担が見えてきました

アンジェラ先生と先生でやってみるからよく見ていてね。
How are you?

あくまで担任がメイン

アクティビティの説明場面(1年生)



I'm sleepy.

授業を進めるのは担任です。
ALTは英語の発音や、担任と一緒にゲームなどのデモンストラーションを担当します。



支援助手と職員室で打合せ

今日の流れは・・・

短い時間でも打合せをして授業に臨みます。
ここで、お互いの役割を確認!



ALT・支援助手と担任の役割分担

《担任》

◇単元のねらい・方向性を示す

単元構想では

- ◇授業の進行役
- ◇学級経営を生かした適切な指名やグループ作り
- ◇ALTや支援助手との会話を聞かせる
- ◇クラスルームイングリッシュをつかう

授業では

《ALT・支援助手》

◇豊富に持っている活動のアイディアを提案する

- ◇英語の発音や文などのモデルを示す
- ◇コミュニケーションの相手をする
- ◇児童の分かるような英語をできるだけ多く話す

小学校の英語学習って？

「小学校でも英語の勉強が始まる」新聞・ニュースなどで、こんな記事を目にされたことがおありでしょうか？全国の小学校では、来年度から5・6年生を対象に年間35時間の外国語（英語）活動が実施されることになっています。でも、小学校での英語活動？具体的にはどんな学習をするのでしょうか？中学校の学習のように、英文を読んだり、英単語を覚えたりすることになるのでしょうか？

「小学校でも英語の勉強をしているのに、全然英語がわかっていないみたい・・・」

「英単語もよく知らないみたいだし・・・」

そんな心配もあるのでは？

実は、英語教育の開始時期については、すでに20年も前から課題としてあげられており、中学校での英語学習の前段階として、小学校では、英会話にふれたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりすることが大切であると考えられてきました。

「英語を体験し、英語をみんなと楽しむ」これが小学校の英語活動なのです。

南小学校の取り組み

板倉町では、今から15年ほど前からALT（英語指導助手）による英語活動を行ってきました。「小学校や、中学校ののときに、ドナルド先生に英語を教わった」と覚えていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか？現在、ニュージーランド出身のドナルド先生と、イギリス出身のマーク先生の二人がALTとして交代で各校を回り、英語学習のお手伝いをしています。子どもたちは、二人の先生との英語活動をととても楽しみにしています。

南小学校では、簡単な英語を使った会話文を使うことを通して、友だちや先生とふれあうことを活動の中心にしています。英語という外国語を使うことで、ふだんよりも相手に自分の言いたいことが伝わるように身振り手振りも使って工夫したり、真剣に友だちの言うことに耳をかたむけたりしています。英語でコミュニケーションを図る活動を通して、気持ちを伝え合うことの大切さを子どもたちにも知ってほしいと願いながら、活動を進めています。



ドナルド先生と会話を楽しむ



マーク先生との授業風景



ふり返りカード



月 日 年 名前 ()

☆今日の授業はどうでしたか？ふりかえってみてあてはまる番号に○をつけましょう。

今日の授業 「方向の言い方を覚えよう①」

楽しくお話しましょ



1 楽しかったですか？

- ①とても楽しかった ②楽しかった ③あまり楽しくなかった ④全然楽しくなかった

2 先生の話や友だちの発表をよく聞こうとしましたか？

- ①よく聞こうとした ②聞けた ③あまり聞こうとしなかった ④全然聞こうとしなかった

3 進んで英語を言うことができましたか

- ①進んで言えた ②言えた ③あまり言えなかった ④全然言えなかった



4 今日の授業でやったことは、分かりましたか？

- ①よく分かった ②だいたい分かった ③あまり分からなかった ④全然分からなかった

5 いろいろな人と交流することができましたか？

- ①自分から誰とでも交流できた ②交流できた ③同じ相手とばかり交流していた ④全然交流できなかった

どうだったかな？

～楽しかったことやがんばれたこと、友だちと進んで交流ができたかをふり返ってみましょう～





英語ノート ふりかえりカード

伊勢崎市立赤堀小学校

Lesson ()		Name ()	
1	(内容)	楽しく取り組みましたか。	A B C
		英語をよく聞いて、話せましたか。	A B C
		多くの人とゲームなどの活動ができましたか。	A B C
2	(内容)	楽しく取り組みましたか。	A B C
		英語をよく聞いて、話せましたか。	A B C
		多くの人とゲームなどの活動ができましたか。	A B C
3	(内容)	楽しく取り組みましたか。	A B C
		英語をよく聞いて、話せましたか。	A B C
		多くの人とゲームなどの活動ができましたか。	A B C
4	(内容)	楽しく取り組みましたか。	A B C
		英語をよく聞いて、話せましたか。	A B C
		多くの人とゲームなどの活動ができましたか。	A B C
感想			

英語 振り返りカード

年 組

単元

評価項目	1	2	3	4
・積極的に声を出して英語で話そうとした				
・練習した英語表現を使って、楽しく活動できた。				
・友達と進んで交流したり、協力して活動したりできた				
・心を込めて友達と会話ができた。				

A：よくできた B：できた C：あまりできなかった

	感想（楽しかったこと、がんばったこと、気づいたこと、などなど）
1	
2	
3	
4	

ALT との事前打ち合わせ用紙 様式

ALT Visit Form

Name of the school	Address ()	TEL FAX E-mail Teacher in Charge	
Date and Time	: ()		

Time Schedule

Period	Time	Contents (内容)	Teacher	Place
Period I	~			
Period II	~			
Period III	~			
Period IV	~			
Lunch	~			
Period V	~			
Period VI	~			
Notes				